

事前評価書		年度	7
		整理番号	
事業名・路線名等		(単)道路改良事業 一般県道 西大山大野日田線	事業主体 大分県
所在地		日田市前津江町赤石	
事業概要	事業の目的	・幅員狭小、線形不良区間の解消により、通行車両の走行性や安全性を向上させ、地域の暮らしを支える生活道路、日田市内の緊急病院および避難所へのアクセス道路としての機能強化を図ることを目的とする。	
	事業内容	【計画延長・幅員】 L＝450m、整備延長L＝450m(現拡)、W＝4.0(5.0)m 【道路区分】 第3種第5級 【設計速度】 V＝30km/h 【現況幅員・交通量】 最小幅員W＝3.0m 交通量 532台/日(R3)	
	事業費	C＝480百万円	
事業の実施計画	完成予定年	着手から6年(令和13年度)	
	事業段階毎の実施計画	1年目(R8) 測量、道路詳細設計 2年目(R9) 用地測量、用地買収 3年目(R10) 用地買収、道路工事 4年目(R11) 用地買収、道路工事 5年目(R12) 道路工事 6年目(R13) 道路工事 完成	
事業の必要性	必要性・緊急性	・沿道地区等住民の生活道路における幅員狭小、線形不良及び離合困難の解消により、安全性・利便性が向上する。	
	整備効果	・幅員狭小、線形不良区間の解消による通行車両の走行性、安全性の向上 ・地域の暮らしを支える生活道路の利便性向上、災害時の避難路としての機能強化	
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	・1.5車線の道路整備のため、費用便益分析比の算出は困難であり、道路利用状況、交通の状況等から総合的に判断	
	工法の妥当性	・道路法、道路構造令に適合した工法を採用 ・1.5車線の整備手法を採用し、早期の事業効果発言を図る	
	コスト縮減	・1.5車線の整備手法を採用し、コスト縮減を図る ・アスファルト・コンクリート・砕石は再生資材を利用する ・建設発生土を盛土材に利用する	
	環境等への配慮	・地形の改変は可能な限り小さい計画としている ・周辺の住環境に配慮し、低騒音・低振動の建設機械を使用する	
事業実施環境	事業の実効性	・地区の振興協議会や日田市から要望書が提出されており、地元の協力体制は整っている。	
	事業の成立性	・道路法第15条に基づき事業を実施 ・大分県長期総合計画「安心・元気・未来創造ビジョン2024」、「おおいた土木未来プラン2024」、「おおいたの道構想2024」に基づき事業を実施。	
	事業の特殊性	-	
対応方針		・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい。	